

令和元年度 第 1 回 大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会

議事概要

1. 日 時 令和元年 7 月 29 日（月曜日）午後 4 時 15 分から 5 時 50 分まで
 2. 場 所 大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 第 2 応接室
 3. 出席者
加我委員長、清水副委員長、伊藤委員、玄野委員、権野委員、田中委員、藤本委員
 4. 議題
 - (1) 令和元年度 事業実施計画について
 - (2) アンケートについて
 - (3) 今後のスケジュールについて
 5. 主な議事内容
(太字：委員 細字：事務局)
 - (1) 令和元年度 事業実施計画について
 - 事務局より令和元年度事業実施計画について説明
 - ◇ 事業計画については、概ね了承。指定管理者の投資系事業を見ると、平成 30 年 10 月から今にかけて、まずは、既存施設を活用した改修整備は中心となっている。今後は、日本庭園、自然文化園、運動施設の良さをより引き出し、継続的に創意工夫を行い、更なる取り組みを進められたい。
 - その他、委員からの主な意見は以下のとおり。
 - ・カフェは充実してきたが、高齢者の方にもお食事を楽しんでもらえる施設も必要では。
 - ・太陽の塔関連等の商品が購入できる場所を園内に増やせないか。
 - ・園内は広く、来園者の目的やターゲットも違うため、1 時間程度で楽しめる観光ツアーを企画してはどうか。
 - ・来園者に、1 日で園内全域を楽しんでもらうのは困難であり、目的別の事業展開とプロモーションを整理すべき。
 - ・運動施設に関する事業計画の更なる充実が必要である。
 - ・日本庭園は中央口から遠いため、多言語対応した誘導板の充実が必要である。
 - ・日本庭園のイルミネーションを企画してはどうか。
 - ・園内に日陰が少ないため、温度計やミストの設置、アナウンスなど、注意喚起や暑さ対策が必要ではないか。
 - ・中央橋南詰の「自然文化園」のアーチ状の看板が老朽化しており、多言語表示を含め改修が必要ではないか。
- ⇒指定管理者とともに検討していく。

(2) アンケートについて

○事務局より、今年度、本公園で実施するアンケート調査について説明

- ◇ 新しく追加するスポーツ施設のアンケート調査のように、各アンケートの目的を明確にした上で、結果を評価すべき。
- ◇ 来園者アンケートについては、行楽シーズン以外の来園者の意向調査も必要に応じて実施すべきではないか。
- ◇ 来園者の意見を、目安箱やHPなどで書き込めるようにしてはどうか。
- ◇ 資料7について、似た設問があるので集約することや、対面方式のアンケートであることから、必要なサービスはないかなどを、具体的に聞く方法もあるのでは。本公園の再来意図や推薦度も質問項目として追加してはどうか。
- ◇ 今回、今まで継続的に実施してきたアンケートについて、府も指定管理者も疑問を持ち、既存のアンケートに振り替えて、スポーツ施設のニーズ調査を新たに実施したいとの提案があったが、単に継続調査でなく、目的を持って見直すということは非常に意義があることだと思う。

⇒ 指定管理者とともに検討していく。資料7は、ご指摘の点を踏まえ修正する。

(3) 今後のスケジュールについて

・事務局よりスケジュールについて説明

⇒ 了承

令和元年度 第2回 大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会

議事概要

1. 日 時 令和2年3月13日（金曜日）10：00～12：00
2. 場 所 大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 第二応接室
3. 出席者 加我委員長、清水副委員長、伊藤委員、玄野委員、権野委員、田中委員、藤本委員
4. 議 題
 - (1) 令和元年度 指定管理者の評価について
 - (2) 令和2年度 スケジュール（案）について
⇒事務局より説明
5. 主な議事内容
(太字：委員 細字：事務局)
 - (1) 令和元年度 指定管理者業務評価票案について
 - ◇ No. 3の「文化・観光拠点形成・発信の取組み」及びNo. 4の「自然文化園・日本庭園の利活用、博覧会の遺産（レガシー）の利活用及び自然環境を活かした取組み」については、当初提案時の主要項目であった「WONDER BOX」設置の方針転換や、日本庭園の改修等の計画停滞があるにも関わらず、指定管理者が自己評価を「A」としているのは、認識が甘い。細かく指摘をしないと指定管理者自身が気付かない。意識がないことが問題。
具体的な改善案を早急に提出させるべきではないか。
⇒ 了解した。
「WONDER BOX」設置の方針転換に関して、「令和元年度 モニタリング評価実施による改善のための対応方針等」を作成させる。
 - ◇ 次年度の事業実施計画について、早い段階で指定管理者へ直接ヒアリングする場を設けてほしい。
⇒ 令和2年度第1回評価委員会に向けて、ヒアリングの場を設けるよう調整する。
 - ◇ 広報プロモーションが曖昧であり、実施にあたっては、集客も意識し、目的やインバウンドを含めターゲットを絞った戦略を構築すること。また、万博記念公園単独ではなく、日本政府観光局や大阪観光局と連携した取り組みを充実させるなど、効果的な情報発信を充実されたい。
⇒ 対応を検討する。
 - ◇ No. 5「運動施設の利活用等の取組み」について、公園にあるスポーツ施設としてのあり方や運営方法を考慮しながら、利用者ニーズを適切に捉え、健康増進の視点からも検討を進められたい。ファミリー層の利用が多く、子供が遊ぶ施設や運動施設が数多くあることから、熱中症対策の強化も必要。

⇒ 対応を検討する。

- ◇ 新型コロナウイルスによる来園者の減少に伴う収入の減少は大きなリスク。民間企業ならではのリスク回避策など、今後、同様の事態が発生した場合のリスクマネジメントの検討が必要。新型コロナウイルスの影響で、学校にも行けず、ストレスが溜まっている子供も多い。公園は心のケアができる空間でもあり、危機事象が起こった際、日常利用としての公園の役割も認識されたい。

⇒ 了解した。

(2) 令和2年度 スケジュール (案) について

- ・事務局よりスケジュールについて説明

⇒ 了承